

<以下が貴組織からホームページ等で発信いただきたい内容です>

## 2020年“風疹ゼロ”プロジェクト宣言！！

2020年2月4日“風疹の日”宣言

—『“風疹ゼロ”プロジェクト』—みなさんの行動が必要です

■30～50代の男性に強く訴えます！

あなたがかった風疹が職場、家庭で妊婦に感染させる危険性を自覚してください。  
(あなた方の世代に風疹患者が特に多く発症しています)

■風疹抗体検査・第5期風疹定期接種のクーポン券を受け取ったすべての方へ

風疹をゼロにするために検査を受けてください

また職場等で周囲の方が検査を受けられるよう配慮してください

■風疹抗体検査、予防接種(MRワクチン)が

特にこの世代に実施されるよう皆さんの行動を求めます

\*わが国でまた風疹が流行しています！！

妊娠20週頃まで(主に妊娠初期)に風疹ウイルスに感染すると胎児が先天性風疹症候群になるおそれが生じます。

\*風疹が流行している地域への海外渡航は風疹ウイルスに感染するリスクがあります。

渡航の際は事前にMRワクチンを接種するなど万全の風疹予防対策をとってください。

また帰国後に発症して周囲に風疹を感染させることがないように十分、注意してください。

2020年1月20日

—“風疹ゼロ”プロジェクト—

代表	木下 勝之	(日本産婦人科医会会長)
作業部会代表	平原 史樹	(日本産婦人科医会副会長)
作業部会副代表	多屋 馨子	(国立感染症研究所感染症疫学センター室長)
作業部会	奥田 美加	(日本周産期・新生児医学会)
	倉澤 健太郎	(日本産婦人科医会)
	谷垣 伸治	(日本産科婦人科学会)
	細矢 光亮	(日本小児科学会)
	峯 真人	(日本小児科医会)

(50音順)

ホームページ; <http://www.jaog.or.jp/rubella/>

現在、40～50代の男性(\*)へ風疹抗体検査の無料クーポン券が送付されていますが実施率はおおよそ15%に過ぎず、少数の方しか検査を受けていません。

一人でも多くの方が風疹の抗体検査をうけて、風疹抗体の不足している方は予防接種【麻しん一風しんワクチン=MRワクチン:これも国の負担で受けられます】を受けてください。

(\*) 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

【なお昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性には2020年度からクーポン券が配布されます】

下記の『風疹に関する緊急情報』 国立感染症研究所感染症疫学センター2019年12月25日図13, 14, 15 参照

図13 各都道府県別の抗体検査実施者数（厚生労働省健康局結核感染症課調査）

図14 各都道府県別の抗体検査実施者割合（厚生労働省健康局結核感染症課調査）

図13



図14

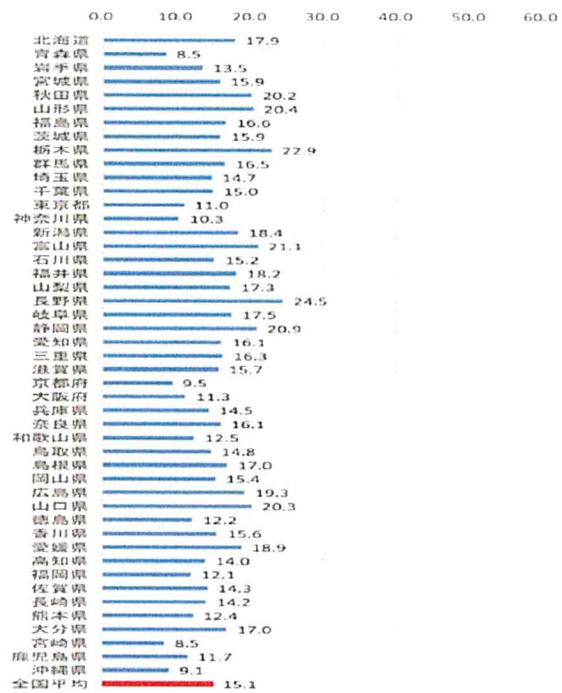
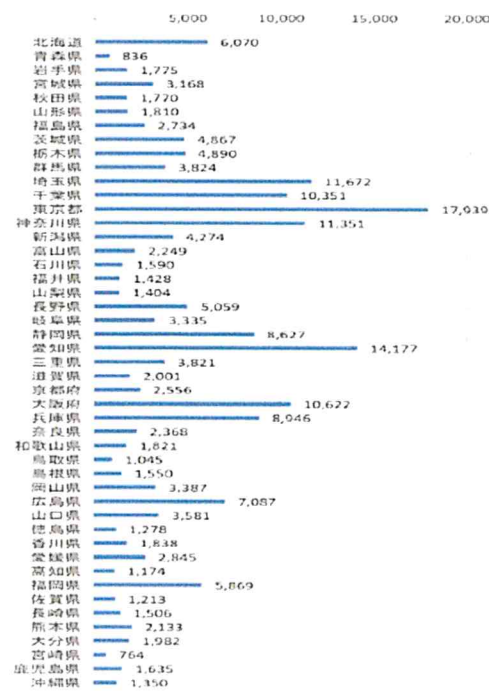


図15 各都道府県別の予防接種実施者数（厚生労働省健康局結核感染症課調査）



## 参 考

### ■協力要請組織、共同行動組織、機関

厚生労働省、経済産業省、外務省、各都道府県市区町村、国立感染症研究所  
日本医師会、日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本周産期・新生児医学会、  
日本小児科学会、日本小児科医会、日本小児保健協会、日本耳鼻咽喉科学会、日本感染症学会、  
日本ワクチン学会、日本ウイルス学会、日本臨床ウイルス学会、日本細菌学会、日本呼吸器学会、  
日本環境感染学会、日本渡航医学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本衛生学会、日本産業  
衛生学会、日本公衆衛生学会、日本疫学会、日本医療・病院管理学会、日本医療情報学会、日本  
集団災害医学会、全国保健所長会、地方衛生研究所全国協議会、全国衛生部長会、全国機関 衛生  
学公衆衛生学教育協議会、予防接種推進専門協議会、一般社団法人社会医学系専門医協会、日本  
看護協会、日本助産師会、日本助産学会、日本保育園保健協議会、一般社団法人日本ワクチン産  
業協会  
マスメディア各社、広告情報業界  
企業、事業体、財界・業界団体、経済界  
風疹をなくそうの会 ほか関係者  
日本医療研究開発機構研究事業（ワクチンで予防可能な疾患のサーベイランスとワクチン効果の  
評価に関する研究） その他 （順不同）

### ■2020年2月4日 “風疹ゼロ”プロジェクト アピールイベント

- ・日時 2020年2月4日（火）17:50-19:00（予定）  
場所 有楽町駅前「交通会館前広場」
- ・行動団体 “風疹ゼロ”プロジェクト（代表 日本産婦人科医会会長）  
厚生労働省 共同開催、 風疹をなくそうの会
- ・はるな愛氏 出演予定 啓発企画・イベントを行います。